片づけ
SEND CLOTHES

住まいと心がすっきり！ 社会貢献にもつながる!!
愛着ある衣類のサステナブルな手放し方

まだ十分着られるのに、もうずっと着ていない服、使っていない靴やバッグ、アクセサリー。思い出があるから、いつかリメイクするから、高かったから……その気持ち、わかります。でも、モノを手放して誰かの役に立つことができるなら試してみたいと思いませんか。

取材協力／日本リユースシステム 古着deワクチン　撮影／佐山裕子（主婦の友社）　ヘア&メイク／伊藤千栄子

まだ使えるのに出番のないまま眠っているものがありませんか。「捨てるのはもったいないし、リサイクルショップやフリマアプリで売るのはハードルが高すぎて……」という声も聞こえてきます。ゆうゆうモデルの酒井昭子さんもそんな一人。成人した2人の子どもたちの思い出の品、サイズが合わなかった衣類や靴、仕切りが多すぎて使いにくいバッグなど……。

「息子が小学生のときに履いていた長靴もいつか自分が履こうと思い、とってありまして（笑）。でも、捨てずに有効活用できるなら気持ちよく手放せますね」

古着deワクチンに衣類を送ると開発途上国で販売・リユースされるからサステナブル。また、キット1口の購入で世界の子どもたちのためのポリオワクチン5人分を寄付できます。さらに国内外での雇用の創出にも寄与できるなど、さまざまな社会貢献につながっていきます。

「片づけうえに、愛着のある衣類を無駄にしないで誰かの役に立てるというのが、とても素敵だと思います。ホームページには、衣類が活用される流れやカンボジアでの店舗販売などの活動内容が報告されているので、納得して利用できますね」

愛着のある衣類だからこそ、もう一度役立ってほしい

「思い入れがあって手放せなかった息子（21歳）の卒園式に買ったスーツや、娘（26歳）のランドセルも、もう一度誰かの役に立てるなら、うれしいですね」

衣類回収袋にはこんなにたくさん入ります!

目安として薄手の衣類なら約100枚強入る回収袋。中身が重くなるので玄関で詰めるとラク。

専用回収キットを注文するとこれが届きます

お礼状や衣類回収袋が入ったキット。段ボール箱を用意しなくていいから手軽でうれしい。

「古着deワクチン」を利用すると、こんな社会貢献につながっていきます

古着deワクチンは、ご不要になった衣類や靴、バッグ、服飾雑貨を、専用回収キット（税込3300円）を購入・利用して送ることができる片づけ商品です。簡単便利に片づけられるだけでなく、SDGsの9つのゴール達成と社会貢献にもつながっていきます。

1 キット1口の購入でポリオワクチン5人分を、開発途上国の子どもたちに寄付したことに

古着deワクチンの専用回収キット購入代金の中から、5人分のポリオワクチン代を寄付として預かり、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」に届けます。JCVを通して、ミャンマーやラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちにポリオワクチンを届けています。

2 専用回収キットの封入作業や衣類の仕分け・販売など国内外の障がいのある方の雇用につながる

お礼状や衣類回収袋などキット一式の梱包から、お客さまへの発送まで、国内の福祉作業所が一貫して行っています。それが障がいのある方たちの仕事につながっています。

3 一般社団法人障がい者アート協会とコラボ。ハンデがあっても世界で活躍したい障がい者アーティストの支援を行う

（左）古着deワクチンの衣類回収袋に使用するデザインのコンクールが行われ、視覚障がいのあるアーティスト・庫美原（くらみはら）さんの作品「たまのお」が選ばれました。（右）採用作品「たまのお」©庫美原。着物の温かさと人とのつながりが表現されています。この作品は衣類回収袋のデザインに使用され、古着deワクチンの販売個数に応じて著作権料が支払われ、アート活動をサポートします。

4 海外30カ国で販売、リユースが行われ、開発途上国のビジネスや雇用につながる。衣類などの販売・再輸出をする直営店兼センターがカンボジアにオープン

カンボジアの首都・プノンペンにある直営店兼センターでは、障がいのある方や、かつてストリートチルドレンだった若者たちを積極的に採用。経済的な自立を応援しています。

衣類などを1点売ると、1ポリオワクチンを開発途上国の子どもたちに寄付できるシステム。「売ると誰かの助けになる」、それがスタッフの働くモチベーションにもなっています。

「古着deワクチン」の利用方法

ホームページか電話で専用回収キットを購入し、届いたキットに同梱された回収袋を広げ衣類などを詰めて発送します。集荷方法は❶インターネットで依頼する、❷電話で依頼する、の2通りから選べ、玄関まで配送業者が取りに来てくれます。
専用回収キット／3300円（税込）

●送れるもの／衣類、バッグ、靴、帽子、ベルト、サングラス、伊達メガネ、新品・未使用のタオル類全般、毛布、アクセサリー、ネクタイ、マフラー、ストール、スカーフ

●送れないもの／下着、靴下・タイツ、シミ・汚れ・破損のひどいもの、寝具（毛布除く）、使用済みタオル、ハンガー、食品、電化製品、台所用品、本、現金
※判断がつかない場合はホームページをご参照ください。

●お問い合わせ
注文専用
0120-126-316（9:00〜17:30 土・日・祝受付可）
商品に関するお問い合わせ
0120-206-225
（9:00〜17:30 土・日・祝受付可）
https://furugidevaccine.etsl.jp/

ゆうゆう

秋の特大号
10月号
好評発売中!
毎月1日発売

表紙の人 南 果歩さん

ゆうゆう10月号の
2大注目企画はこちら!

特集

今から備えて安心！
親と私の「幸せ老後計画」
●私サイズの老後計画
●老後のお金、いくらあれば安心？
●老親と暮らすということ ●終の住み処の探し方

50代から「私」が主役！

とじ込み付録
おいしいものはここにある!
ゆうゆう
「全国お取り寄せグルメ帳」

好評連載中!
山内惠介さん

インタビュー
石川さゆりさん
香取慎吾さん

撮影／富田潤光（vale.）　スタイリング／坂本久仁子　ヘア&メイク／黒田啓蔵（Iris）

「ゆうゆう」2022年10月号 ©主婦の友社